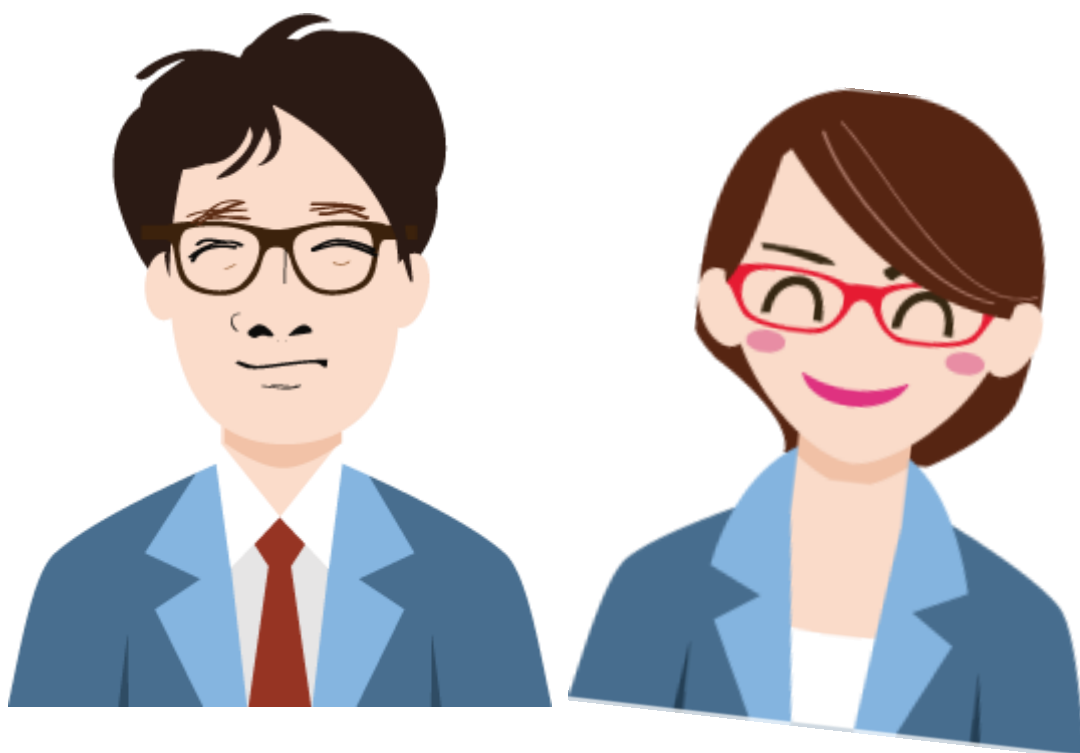


ベテラン講師とフレッシュ講師の！

＜日商簿記 3 級＞

フリーテキスト講座

～固定資産（購入）―①～ 全 4 枚



Syachou

&

Morisato

弥生カレッジ GMC フリーテキスト講座（無料動画で公開中）

～固定資産～

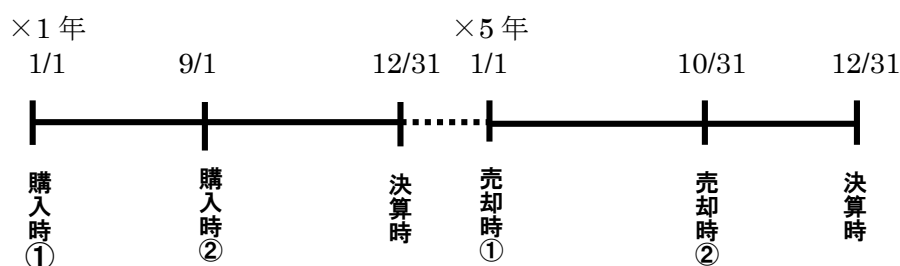
◆固定資産

・固定資産??

…建物・備品・土地・車(車両運搬具)など、長期にわたって使用する資産のこと。

下記のような一連の流れで確認していきましょう。

会計期間：1月1日～12月31日



～固定資産を期首に購入した時～(購入時①)

【例】×1年 1/1 当社は、建物 800,000 円を購入し、代金は小切手を振出して支払った。なお、購入にあたっての不動産会社に対する仲介手数料 20,000 円は、現金で支払った。

建 物	820,000	当座預金	800,000
		現 金	20,000

(★ポイントは、付随費用の処理)購入代価+付随費用=取得原価
800,000 円+20,000 円=820,000 円(取得原価)

付随費用を含める場合

- | |
|-----------------------|
| ①商品を生入れたとき→仕入原価に含める |
| ②有価証券を購入したとき→取得原価に含める |
| ③固定資産を購入したとき→取得原価に含める |

では次に、×1年 1/1 に購入した建物を決算時に「減価償却」をしましょう。

ベテラン講師とフレッシュ講師の！日商簿記3級フリー講座
～固定資産(購入)～①～

◆減価償却

・減価償却??

…固定資産を使用することによって年々価値が減っていく。そこで決算時に、ある決められた計算に基づいて価値が減った分の計算を行い、費用計上(減価償却費)を行うこと。

・決められた計算方法?

…定額法・定率法・生産高比例法という3つの方法があります。3級では、「定額法」のみ学習します。(残り2つは、2級で学習)ですので、ここからは、定額法を前提に進めていきますね。

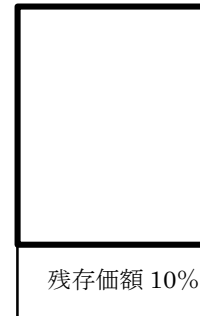
・因みに…

…帳簿への記帳方法も2つの方法があります。「直接法」と「間接法」です。考え方も異なりますし、使用する勘定科目も異なります。

・減価償却費を計算するための3要素

- ①取得原価：固定資産の購入にかかった金額
- ②対応年数：固定資産の利用年数
- ③残存価額：対応年数まで使用したときに残っている価値の金額

取得原価 820,000 20年



～決算のとき～(×1年決算時)

【例】×1年12/31 当期首に購入した建物(取得原価820,000円 残存価額は取得原価の10%、対応年数20年)について、定額法により減価償却を行う。

1.まずは減価償却費の計算をする。

計算方法…

方法1 残存価額：820,000円×10%=82,000
減価償却費：(820,000円－82,000円)÷20年=36,900円/年

もしくは…

方法2 減価償却費：820,000円×0.9÷20年=36,900円/年

※慣れたら**方法2**の計算方法の方が速いです。

毎年、この額を決まって減価償却するから…「定額法」ですね。

2.記帳をする。(仕訳をする。)

…借方は同じ、違いは、貸方！

直接法

減価償却費 36,900/ 建 物 36,900

建 物	
820,000	36,900
}	
783,100	

「建物」勘定から直接減らすから、直接法…ですね。

間接法

減価償却費 36,900/ 減価償却累計額 36,900

建 物	減価償却累計額
820,000	36,900

「建物」勘定からは減らさずに、「減価償却累計額」勘定を使用して、間接的に減らすから間接法…ですね。

本試験に比較的好く出題されるのは「間接法」です。しかし「直接法」もふいに出題されることがありますので、合わせて確認しておきましょう。



ここまでで、期首に固定資産の購入→決算の流れを確認しました。

では、期中に固定資産の購入→決算の処理は、どうなるのかを確認しましょう！

～固定資産を期中に購入したとき～(購入時②)

【例】×1年 9/1 当社は、建物 800,000 円を購入し、代金は小切手を振出して支払った。なお、購入にあたっての不動産会社に対する仲介手数料 20,000 円は、現金で支払った。

*購入時①と同じ計算方法と仕訳です。

～決算のとき～(×1年決算時)

【例】×1年 12/31 当期 9/1 に購入した建物(取得原価 820,000 円 残存価額は取得原価の 10%、対応年数 20 年)について、定額法により減価償却を行う。

1.まずは減価償却費の計算をする。

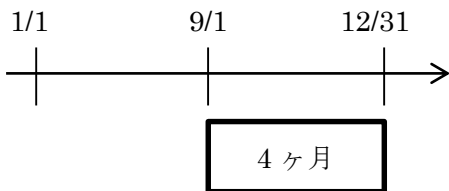
計算方法… 方法 2 を使っていきます。

$$\rightarrow 1 \text{ 年分の減価償却費} : 820,000 \text{ 円} \times 0.9 \div 20 \text{ 年} = 36,900 \text{ 円} / \text{年}$$

今回は、9/1 の期中に購入しています。

=当期に使用しているのは、4ヶ月ですね。

$$\rightarrow \text{当期分の減価償却費} : 36,900 \text{ 円} \times \frac{4 \text{ ヶ月}}{12 \text{ ヶ月}} = 12,300 \text{ 円} / 4 \text{ ヶ月分}$$



2.記帳をする。(仕訳をする。)

今回は「間接法」を使います。

間接法	減価償却費 12,300/	<u>減価償却累計額</u>	12,300
------------	---------------	----------------	--------

因みに、貸借対照表(固定資産のみ)に記載されるとこのようなイメージです。(間接法)

貸借対照表

【資産】		【負債】	
⋮		⋮	
建 物	820,000		
減価償却累計額	△12,300	807,700	
⋮			
		【純資産】	
		(資本金…)	